



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST
Weekly Report

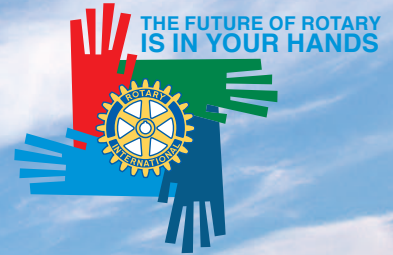
<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



2

 2010, February
第1846回例会

平成22年2月19日



ロータリーの未来は
あなたの手の中に



【国際ロータリー世界理解月間】

会長	深澤 知博	広報副委員長	高田 晃一
副会長	田中 利昭	委員	日崎 清二
副会長	大友 広明	委員	横山 明美
幹事	山本 範之	委員	大須賀真太郎
会計	本田美喜男	委員	八代 信弘
S A A	北川 勝啓	委員	小谷 典之
広報委員長	堂山 啓太	委員	熊切 宏樹

**エコキャップの回収に
協力して下さい**
世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

■会長挨拶

帯広北ロータリークラブ
副会長 堀 稔



今月は、国際ロータリー世界理解月間です。
7クラブが一堂に会して、理解を深めようと
本日の合同例会が開催された訳であります。

私は、国際理解には時代によって違いがあると考えます。
例えば江戸時代、鎖国制度下では世界のことを知ることは
罪とされる時代でした。

明治維新では、世界列強の帝国主義時代であり日本はそれ
に伍していく為に海外の文化・文明を取り入れ、富国強兵へ
と向かい結果的にそれが第二次世界大戦に繋がり、日本は敗
北をしたのだと思います。この様な国際理解の歴史から、戦
後の国際理解とは世界平和の樹立、そして世界中の国々が友
好を深めることが今求められている国際理解ではないでしょ
うか。

いずれにしても世界平和に繋がるためには、互いの国家・
国民への相互理解が不可欠であると思います。

私達もこの世界理解月間を契機に、より世界の理解を深め
たいものです。

たいまつ宣言

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を実践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

■出席状況報告

月/日	12/3	12/10	12/17	12/24
例会	1837回	1838回	1839回	1840回
会員総数	69名	69名	69名	69名
出席計算に 用いた会員数	61名	61名	61名	61名
ホームクラブ出席	56名	52名	49名	44名
メイクアップ	12名	18名	6名	10名
出席率	91.8%	85.2%	90.1%	88.5%
月平均	88.9%			

■今月の主な行事

- 2月 4日 誕生・結婚祝
- 11日 ※祝日休会（建国記念の日）
- 19日 7RC合同例会（2月18日の繰下）
- 25日 創立記念夜間例会



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

【国際ロータリー世界理解月間】
**帯広5ロータリークラブ・芽室ロータリークラブ
 ・音更ロータリークラブ合同例会**

総合司会 帯広北RC 長谷川SAA
 点鐘 帯広北RC 乙 黒会長
 開会宣言 帯広北RC 長谷川SAA
 ロータリーソング(我等の生業)

帯広北RC 長谷川SAA
 ビジター紹介 帯広北RC 堀 副会長
 講師入場先導 帯広北RC 須藤副会長
 講師紹介 帯広北RC 乙 黒会長
 「飛んでけ！車いす」の会事務局長 クイン明美様

会長挨拶 帯広北ロータリークラブ 堀 稔副会長
 会務報告 帯広北RC 来海幹事

①帯広南RC、繰上げ例会開催のご案内

日時 平成20年2月19日(日)
 午後0時



場所 ホテル日航ノースランド帯広
 尚、2月22日(月)の繰上げ例会と致します。

②帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内
 (創立記念例会)

日時 平成22年2月25日(木) 午後6時30分
 場所 シャレード

③帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内
 (創立記念例会)

日時 平成22年2月26日(金) 午後6時30分
 場所 ジグザグ

プログラム
 講師経歴紹介 帯広北RC 柴田国際奉仕理事

講演 クイン明美様

顔の見える国際ボランティア



みなさんこんにちは。「飛んでけ！車いす」の会事務局長の、クイン明美と申します。今日は、大勢の前でお話しできること、うれしく思います。よろしくお祈りします。

「飛んでけ！車いす」は、日本で使われなくなった車いすを再利用し、丁寧に整備し、車いすが手に入らない人々へ旅行者が直接手渡しをしています。旅行者が手渡すことで、車いすを受け取った人との交流もすすんでおります。車いすは、仕事を退職したシニアの技術をもった人が整備をしています。それに合わせ、小学校では整備体験というのもしています。海外とはコーディネーターの人がやりとりをしています。そして、いろんな車いすが来るのですが、できるだけその人に合った車いすを送るために、相手の人から情報ももらいます。そして、マッチングした車いすに整備をします。うちの会は学生が多く関わっていて、海外にも行っております。車いすを

もらったことで活動的になり、大学院まで行った人もおります。

この会は、12年目を迎えました。その間、68カ国1815台の車いすが届けられました。車いすが多く飛んでいった国は、①ベトナム447台、②タイ225台、③フィリピン174台、④マレーシア76台、⑤中国58台、となっております。ベトナムが多いのは、相手側にサポートしてくれる団体があるというのもそうなのですが、ベトナム戦争の影響があると思います。今でも障害児が多く生まれています。

この会が設立されたきっかけは、現代表は若くて37才ですが、彼が北大医学部の学生だったときに「医療問題研究会」で北大病院の古い車いすを手土産として1996年、1997年にベトナム、インドに運んだことがきっかけになっております。

「飛んでけ！車いす」にかかわっている理由を、学生にインタビューしたことがあるのですが、以前は「海外に興味があり、海外とのつながりを持っていたかった。NPOとはどんなものか知りたかった。」という人が多かったです。それが今は、「裁量が大きくやりがいがあった。自分がNPOに携わることで出会う人が変わっていき楽しかった。」という人が増えてきています。学生自ら、発進・企画・運営もしています。今までは、自分も障害者であるコンドカール・アラムさんと呼んで講演会をしたり、ライジングサン・ロックフェスティバルに出展したりしています。また、リングプルを集めたり、イオンでは黄色いレシートキャンペーンというのをやったりしています。さらに、ごちゃまぜスタディツアーということで、ベトナム3回、フィリピン2回、ミャンマー、マレーシア、ウズベキスタン、タイなどほぼ毎年行ってきています。現地へ行って整備、修理もしています。

ただ、問題もいっぱいあります。ひとつ目には、資金不足です。残念ながら3年連続赤字で、事業ができるNPOへの変身も考えています。二つ目には、人材不足です。学生スタッフは卒業という期限があるので、常に新しい人材の確保や育成が必要になってきます。三つ目には、活動範囲です。企業や公共との連携、協議も視野に活動を拡大していきたいと思っています。当会の収入は、寄付金や助成金の収入がほとんどです。今後は、新たな収入の道も探していきたいと思っています。

車いすは、誰の車いすが誰に渡っているかをわかるようにしています。中には、コンテナで一気に運べばいいという人もいますが、それですと、どこに車いすが行ったか把握できなくなります。私どもは顔の見えるボランティアということで、効率的ではないかもしれませんが、手渡しでやっていきたいと思っています。

これからも多くの人に温かい心を届けられるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお祈りします。

謝辞
 講師退場先導
 閉会宣言
 点鐘

帯広東RC 齊藤会長
 帯広北RC 須藤副会長
 帯広北RC 長谷川SAA
 帯広北RC 乙黒会長